

スポーツ施設

そうま維新
尾高雅夫議員



問 スポーツ施設の現状と課題について問う。

答 市内に54施設を設置、NPO等への活動支援が課題。

今年も9月9日から秋田県で、60歳以上の方を中心に交流を深め、楽しむ事が出来るねりんピックが開催される。

民向けのスポーツ施設を16施設、市内小・中学校での施設が38施設、合計54施設のスポーツ施設を設置している。

サブ体育館として整備し、両施設を相互利用して各種大会の開催や誘致にも対応できるよう、できる限り体育協会からの要望に沿ったものを目指してまいりたい。

4月20日には、すこやか福島ねりんピックが計画されており、ここを目標に各団体は活動をしているが、練習場が確保出来ない状況である。スポーツ施設の現状と課題について問う。

また、維持管理費軽減のために、指定管理業務を行っているNPO等の団体が引き続き活動を継続していくよう支援していくこと、人材スキルアップや人材確保に努めていくことが課題である。

問 スポーツ施設の現状と課題について問う。

問 今後の施設整備について問う。

答 スポーツ、レクリエーションや文化活動等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与することを目的に、一般市

答 震災で取り壊した川沼体育館の代替体育館を現在の市民プール跡地に建設を予定しており、スポーツアリーナそうまの



その他の質問
・子育て支援の施策

観光振興

問 フィルム・コミッションを設立する考えについて問う。

答 現段階において設立する状況にはないが、将来的には検討すべき課題である。

観光振興を図る上でロケ地の誘致は効果がある。そのロケ地誘致の手段としてフィルム・コミッション(※2)(以下F.C)がある。現在、このF.Cは多くの地域で設立されているが、F.Cで映画・ドラマの誘致が叶えば、PRも含め観光振興に効果的である。

ことから、現段階ではF.Cを設立するような状況ではないと考えている。しかし、将来的には、市内外を取り巻く状況の変化等にかんがみながら検討すべき課題であると考えている。

問 F.Cを設立する考えについて問う。

問 外国人旅行者を誘致する考えについて問う。

答 本市の場合、沿岸部での復旧工事が現在も進められており、漁業も本格的な操業に至っていない復興途上の状況である

答 国の交付金を活用した英語版の観光パンフレットの作成、歴史資料収蔵館での英語による案内表示、英語版での観光プロモーションDVD及び復興DVDの作成を行っているところである。また、平成29年度から実施予定の甲冑着付けと



乗馬を体験できるイベントである「一日騎馬武者」について、英語での募集案内も市のホームページに掲載する予定である。

※2 映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関。

その他の質問
・チャレンジショップ



未来そうま
杉本智美議員